

支出証拠書

(会派名・議員氏名 ふじのくに県民クラブ・ 田口 章)

経費項目	調査研究費・研修費・広聴広報費・要請情報活動費・会議費・資料作成費・資料購入費・事務費・事務所費・人件費		
内容	県庁にて役員会、県外視察		
年月日	令和7年2月10日～13日	金額	97,543円

目的	2/10 役員会は定例会の対応検討、県外視察は別紙報告書のとおり
用途	交通費、宿泊費、レンタカー代、手土産、視察先入館料
政務活動・ 県政との 関連性	<ul style="list-style-type: none"> 役員会では2月定例会における会派内で県施策等に関する検討を行った。 今回の視察テーマは①官民連携、②先進技術活用、③東日本大震災の復興関連。今後の県政に活かしていく。
<<領収書貼付枠>> 交通費 ○JR 乗車券 19,710円① (高塚⇒静岡⇒大井町 4,840円、大井町⇒いわき 3,740円、原ノ町⇒仙台 1,340円、仙台⇒高塚 9,790円) ○JR 特急券 15,410円 (浜松⇒静岡 990円②、静岡⇒品川 2,530円③、品川⇒いわき 2,450円④、原ノ町⇒仙台 920円⑤、仙台⇒東京 5,160円⑥、東京⇒浜松 3,360円⑦) ○宿泊費 37,527円 (2/10 アワーズイン阪急 13,800円⑧、2/11 ホテル双葉の杜 11,100円⑨、2/12 ダイワロイネットホテル仙台西口 12,627円⑩) ○レンタカー代 22,294円⑪ (いわき⇒原ノ町)、高速代 880円⑫ (常磐道いわき中央IC⇒広野IC) ○手土産うなぎパイ 1,122円⑬ (品川区役所) ○東日本大震災・原子力災害伝承館入館料 600円⑭	

案分の理由 全て政務活動にかかる ものである。	領収書金額(a)	案分率(b)	政務活動費支出額(a×b)
	97,543円	100%	97,543円

①

駅-No 51201280 領収書-No 38
窓口-No 102

領 収 書

田口章 様

金額 ￥19,710円
[消費税等込み・10%]

但し、乗車券類(クレジット扱い)として

2025年 2月 9日
東海旅客鉄道株式会社
登録番号: T3180001031569

ご利用いただきましてありがとうございます

印紙税申告納
付につき名古屋中村
税務署承認済

高塚駅

現金出納社員



2/13の東京⇒浜松の指定席特急券は
EXCARDで購入しているが、
なぜかJR東海のシステムに
データ反映されないため
JRの窓口で調べてもらったうえで、
2/17に再発行してもらった。

②

駅-No 5201270 領収書-No 142
窓口-No 4

領 収 書

田口章 様

金額 ￥3,360円
[消費税等込み・10%]

但し、乗車券類(クレジット扱い)として

2025年 2月 17日
東海旅客鉄道株式会社
登録番号: [REDACTED]

ご利用いただきましてありがとうございます

印紙税申告納
付につき名古屋中村
税務署承認済

浜松駅

現金出納社員



⑧ 領 収 書

No. 000674370 積-10 25/02/10 15:41
[チケット]

ツイン館9階
968号室

ご滞在期間 2025/02/10~2025/02/11
発行日 2025/02/10

田口章 様

ご請求額 13,800円

ご利用明細

ご宿泊代として 13,700円
宿泊税100 100円
10%対象 税込合計 13,700円
うち消費税 1,245円
領収金額 13,800円

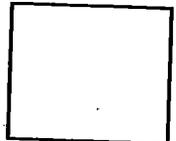
*は軽減税率対象商品です。

※上記金額には消費税が含まれております。

アワーズイン阪急

〒140-0014 東京都品川区大井1-50-5
[TEL] 03-3775-6121
[FAX] 03-3778-3861
登録番号: T7-1200-0112-7170

現金での支払額が5万円以上の
場合は収入印紙を貼付致します
のでフロントへお越し下さい。



QRコード決済ご利用明細

ご利用日: 2025/02/10
ご利用時間: 15:41:12
決済番号: [REDACTED]
会社名: ANA

ご利用金額: 13,800円

アワーズイン阪急

〒140-0014 東京都品川区大井1-50-5
[TEL] 03-3775-6121
[FAX] 03-3778-3861



No. 03427613 エクスプレス予約
表示日 2025年2月14日 13時46分

領収書
RECEIPT

宛名
RECEIVED FROM

田口 章

様

お預かり番号
RESERVATION NUMBER 2430

クレジットカード番号
CARD NUMBER

金額計
TOTAL AMOUNT ¥990 (10%・税込)
(クレジットカード利用・Credit card use)

内容
DETAIL 乗車券類のご購入代金
TICKETS PRICE

購入日
DATE OF PURCHASE 2025年2月9日

乗車日
DATE OF DEPARTURE 2025年2月10日

列車名・券種
利用区間

自由席券
浜松
FROM

→ 静岡
TO

東海旅客鉄道株式会社
Central Japan Railway Company
登録番号 T3180001031569



3

No. 23427613 エクスプレス予約
表示日 2025年2月14日 13時46分

領収書
RECEIPT

宛名
RECEIVED FROM

田口 章

様

お預かり番号
RESERVATION NUMBER 2432

クレジットカード番号
CARD NUMBER

金額計
TOTAL AMOUNT ¥2,530 (10%・税込)
(クレジットカード利用・Credit card use)

内容
DETAIL 乗車券類のご購入代金
TICKETS PRICE

購入日
DATE OF PURCHASE 2025年2月9日

乗車日
DATE OF DEPARTURE 2025年2月10日

列車名・券種
利用区間

自由席券
静岡
FROM

品川
TO

東海旅客鉄道株式会社
Central Japan Railway Company
登録番号 T3180001031569



④

発行日 2025年02月14日13時38分
発行番号 No.E005021299668000211

えきねっと ご利用票兼領収書
下記の金額を、確かに領収しました。

東日本旅客鉄道株式会社
登録番号 : T9011001029597

宛名	田口 章 様
金額	¥2,450(税込10%) クレジットカード利用(カード番号下4桁: XXXXXXXX)
但し	きっぷのご購入代金として

きっぷの明細

予約番号	E00502
購入日	2025年01月13日
乗車日	2025年02月11日
列車名・区間	○ひたち5号指定席 品川 → いわき
ご利用人数	おとな1名

5

発行日 2025年02月14日13時37分
発行番号 No.E037621299668000212

えきねっと ご利用票兼領収書
下記の金額を、確かに領収しました。

東日本旅客鉄道株式会社
登録番号 : T9011001029597

宛名	田口 章 様
金額	¥920(税込10%) クレジットカード利用(カード番号下4桁: [REDACTED])
但し	きっぷのご購入代金として

きっぷの明細

予約番号	E03762
購入日	2025年01月13日
乗車日	2025年02月12日
列車名・区間	○ひたち13号指定席 原ノ町 → 仙台
ご利用人数	おとな1名

6

発行日 2025年02月14日13時36分
発行番号 No.E171811299668000213

えきねっと ご利用票兼領収書
下記の金額を、確かに領収しました。

東日本旅客鉄道株式会社
登録番号 : T9011001029597

宛名	田口 章 様
金額	¥5,160(税込10%) クレジットカード利用(カード番号下4桁 : ████████)
但し	きっぷのご購入代金として

きっぷの明細

予約番号	E17181
購入日	2025年01月13日
乗車日	2025年02月13日
列車名・区間	○はやぶさ2 2号指定席 仙台 → 東京
ご利用人数	おとな1名

9

領収書

2025年2月11日(火)

田口章様

¥ 11,100 -

但 宿泊代として

上記正に領収致しました。

ホテル双葉の杜
 979-1513
 福島県双葉郡浪江町大字幾世橋字
 田中館8
 TEL 0240-23-7099 FAX 0240-23-7089
 登録番号:T1380001020520



※本票保管上のお願
 財布等にばさんで保管して
 印字面を内側に折って保管願
 います

12

ご利用ありがとうございます。



料金所では一旦停車してください。

利用証明書

料金所 広野
 NEXCO東日本お客さまセンター
 0570-024-024
 または
 03-5308-2424

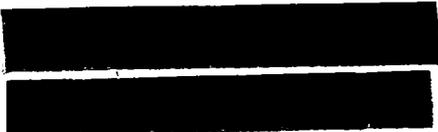
25年 2月11日12時43分
 車種 普通

通行料金 ¥880-

※通行料金の消費税率は10%です

(外注)

-入口料金所- いわき中央



承認番号: 203764

ETCなら小銭不要。各種割引もあります。

便利でお得なETCをぜひご利用下さい。

東日本高速道路株式会社

東京都千代田区霞が関3-3-2

登録番号:T9010001095716

取扱番号212-00241156-00

10

部屋番号 513

領収書

No. 000009817 籍-03 25/02/12 17:31
 [フェックイ] ご利用期間 2025/02/12~2025/02/13
 ご利用日 2025/02/12

田口章様

領収金額 12,627円

上記金額をクレジットにて領収致しました

ご利用明細

◇ご宿泊代 12,627円
 10%対象 12,627円
 うち消費税 1,147円
 合計 12,627円

◇ 仕入税額控除対象
 ☆ 軽減税率対象
 ■ 消費税課税対象外
 ◎ その他

ダイワロイネットホテル仙台西口 PREMIER
 TEL. 022-217-7255

大和ハウスリアルティマネジメント株式会社
 東京都千代田区神田三崎町三丁目3番21号
 登録番号:T9010501013251

印紙税申告納
 付につき神田
 税務署承認済

クレジットカードご利用明細

カード会社: [Redacted]
 ご利用日: 2025/02/12
 会員番号: [Redacted]
 有効期限: [Redacted]
 お支払方法: [Redacted]
 承認番号: 0985690
 伝票番号: 6169

AID: A000000031010
VSDC

カード会員名: [Redacted]

ご利用金額: 12,627円

ダイワロイネットホテル仙台西口 PREMIER
 TEL. 022-217-7255



貸渡料金精算明細書 (兼 ご請求書)

Rental Agreement

お客様控

貸渡人 株式会社 トヨタレンタリース新福島
いわき駅前店
いわき市平並木の杜1

RA610R
発行年月日: 令和 7年 2月12日
貸渡No.: 6090276

電話番号0246-85-5539

借受人 名称 田口 章 様
住所 静岡県浜松市西区入野町9860-1

項目	予定料金	精算料金
基本料金		23,595
カード割引額(0%)		0
その他割引額(20%)		4,719
*		0
小計		18,876
免責補償料		2,200
特別装備料	(除外)	0
添付品料金	安価Wマフ 2個	1,100
ワンウェイ料金		2,200
燃料代		1,218
引取配車料		0
ご利用額		25,594
リース無償代車		0
N O C		0
免責実費料		0
お支払額		25,594
予約金	0	0
船乗車券	0	0
当日預り金	0	0
預り金合計	0	0
マイル・ポイント利用	0	0
ご請求金額		25,594

<お貸しする車両>

貸渡車両 シェンAHEV3レツ-22/7 燃料 ガソリン
登録No. 福島 501わ3345

料金クラス W1-K 車両クラス W1-K

<ご利用内容>

	予定貸渡	貸渡	メーター(Km)
着	時分	2月12日 15時53分	66,259
発	時分	2月11日 11時30分	66,141
利用分	日 時間 分	1日 4時間23分	118

料金種別 ハイシーズン料金1 料金割引率 20%

添付品

乗車人数 5名

返却営業店舗 原ノ町駅前店 0244-23-0100 返却府県

運転者氏名 田口 章 様

株式会社 トヨタレンタリース新福島
登録番号: [REDACTED]

今回ご利用額	25,594円
10%対象	25,594円 内消費税 2,326円

<トヨタレンタカーマイル>

会員番号

利用マイル

付与マイル

2月12日現在のマイル

TOYOTA Rent a Car

トヨタレンタカー予約センター

0800-7000-111 無料

<http://rent.toyota.co.jp>

クレジット	25,594	トヨタTS3レギュラ
ご請求金額内訳		

領 収 書

領収書No. 0054309

令和 7年 2月12日

田口 章 様

Receipt

領収金額 25,594 円

(税抜金額 23,268 円)

現金・小切手	0 円
クレジット	25,594 円
交通系IC	0 円

収入印紙

トヨタレンタカーをご利用いただき、誠に有り難うございます。
ご利用料金として上記金額を正に領収いたしました。
(なお、扱者印無きもの、又は金額訂正したものは無効です)

営業店舗 原ノ町駅前店
住所 南相馬市原町区旭町4-9-14
電話番号 0244-23-0100

株式会社 トヨタレンタリース 福島

本社 福島県福島市鳥谷野字天神20-1

扱者印

Toyota Rent-a-Car is an official rental car partner of Hertz. Should you have any questions regarding this Rental Agreement/Receipt, please do not hesitate to ask the Toyota rental counter staff, or contact your home country's Hertz Customer Service Center. Thank you for renting from Toyota and Hertz.



GIFT KIOSK

13 領収書

ギフトキオスク静岡幹線
TEL: 054-251-7064

2025年 2月10日(月) 12:24 No:0002

うなぎパイ12本	※	¥1,122
内税8%対象額	8.00%	¥1,122
内税8%	8.00%	¥83
合計		¥1,122
クレジット		¥1,122
(消費税等		¥83)

クレジット売上票

お客様控え

この控えは大切に保存して下さい。

ご利用日DATE 2025/02/10 12:25:03

カード会社

CARD Company

会員番号

ACCT No

端末番号 TERMINAL 6410408070002

承認番号 APPROVE No 378801

処理通番 TRAN No 722314

伝票番号

取引内容

SLIP No

SALES

31653

売上

支払区分 取扱区分

商品区分

METHOD CODE

GOODS CODE

[一括] 110

990

金額 AMOUNT

¥1,122

合計額

¥1,122

AID [VISACREDIT

] ARC 00

A0000000031010

ATC 00058 SEQ 01

ご案内

UFカード

アリガトウ コザイマツタ



14

公益財団法人福島イノベーション・コースト構想推進機構 T3380005011893

令和 7 年 2 月 11 日 (火)

領収書

支払者 田口 享 様

¥ 600

(内消費税額 10% 54 円)

上記正に領収しました

東日本大震災・原子力災害伝承館

福島県双葉郡双葉町大字中野字高田39

電話 0240-23-4402

登録番号 T3380005011893

入館料

@ 600 × 1 名

@ × 名

県外調査概要書	
令和7年2月14日 会派名・議員氏名 ふじのくに県民クラブ 田口章	
目的	1 官民連携先進事例調査、2 先進技術活用調査、3 福島第一原発関連施設調査
年月日	令和7年2月10日～13日
場所	①品川区、②東京電力廃炉資料館（福島県富岡町）、③東日本大震災・原子力災害伝承館（双葉町）、④福島水素実証実験フィールド（浪江町）、⑤Zip Infrastructure 社・福島ロボットテストフィールド（南相馬市）、⑥(株)みずむすびマネジメントみやぎ
内容	<p>1 行程 高塚（JR）⇒静岡県庁⇒大井町⇒福島県いわき市⇒（レンタカー）⇒富岡町⇒双葉町⇒浪江町⇒南相馬市⇒（JR）⇒仙台市⇒浜松</p> <p>2 視察概要</p> <p>①2/10(月) 14:30-15:40 「SHINAGAWA CITY LAB」による官民共創の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 応対者 品川区企画経営部 SDGs 推進担当課長 井添優子氏、ほか2名 ・ 聴取内容 <p>昨年秋、スタートアップとの官民共創事業を支援する「SOCIAL X」を訪問した際、連携して具体的活動を進めている自治体として品川区と京都市を紹介いただいた。</p> <p>品川区は今年度、企業・団体・大学等により「しながわ SDGs 共創推進プラットフォーム」を立ち上げた。あわせて当初予算5000万円を計上し民間事業者からも出資を募り「ウェルビーイング SDGs 推進ファンド」を設置した。昨年9月から具体的な事業をスタートし、民間事業者も入った「事業実行委員会」により事業選定を行い4団体を支援している。</p> <p>またオープンイノベーションプラットフォームとして「SHINAGAWA CITY LAB」をスタートし、これまでに「課題解決型」として品川区から民間事業者への社会課題の提供を7事業、「実証実験提案型」として民間事業者からの提案（逆プロポ）を6事業で受けている。この13事業のうち現時点で事業化につながったのは1件ずつの計2件とのこと。この取り組みによる区から事業者への支援として、①事業費用支援、②広報支援、③リソース提供（施設等実証実験フィールドの提供、データ提供、区のお墨付き）を行っている。</p> <p>品川区の官民共創の取り組みはまだスタートしたばかりだが、SOCIAL Xによる職員研修も行っており、職員の意識改革にもつながっているとのこと。</p> <p>②2/11(火) 13:15-14:45 東京電力廃炉資料館</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 応対者 東双不動産管理(株) ████████ 氏、ほか1名 ・ 聴取内容 <p>東京電力が福島第一原発における事故の反省と廃炉事業の現状を広報するため、福島第二原発のPR施設を改修して設置した施設。東京電力関連会社である東双不動産管理(株)の運営により事故と廃炉作業の詳細を伝えている。</p> <p>事故当時の状況としては、1・3・4号機の水素爆発のようすや2号機からの放射性物質拡散の状況を、再現動画などを通して克明に伝えている。また廃炉について</p>

は、ALPS 処理水や使用済み燃料棒の取り出し、燃料デブリの取り出し、廃棄物処理などの課題を紹介している。またチョルノービリやスリーマイル島の事故や処理状況との比較や廃炉までのロードマップなども明示している。

東京電力の情報公開に対する企業姿勢は評価できるが、廃炉作業の現実は非常に厳しいものであると感じた。

③2/11(火) 15:15-16:45 東日本大震災・原子力災害伝承館

・ 応対者 副館長 [REDACTED] 氏

・ 聴取内容

双葉町の被災地で (公財) 福島イノベーション・コースト構想推進機構が運営する施設で、地震・津波による被害に加え原発事故による避難生活を強いられた地域住民の震災前、震災当時、そして現在の状況を住民生活目線での多様な展示品で伝えている。

今回は時間の関係で行けなかったが、近くには震災遺構の「請戸小学校」もあり、震災の記録と記憶を今後の防災減災の取り組みに活かしている。周辺の震災遺構などを含めた防災ツーリズムの拠点施設となっている。

④2/12(水)10:00-12:10 福島水素エネルギー研究フィールド (FH2R)

・ 応対者 浪江町産業振興課 新エネルギー推進係 [REDACTED] 氏

・ 聴取内容

FH2R は 2025 年度までの計画で、NEDO を事業主体として、東芝、東北電力、岩谷産業、旭化成がグリーン水素の製造研究を進める施設。山梨県とは異なる技術開発を進めている。隣接地には大型 FCV への充電装置の技術開発を進める施設も併設している。今回は技術的な側面よりも今後の水素エネルギーの利活用の参考にするため、浪江町における水素を活用したさまざまな事業をヒアリングした。

浪江町は今も約 8 割が帰還困難区域となっており、震災前 2 万人を超えていた人口は、昨年 4 月でまだ 2,227 人と本格復興には程遠い状況。2030 年 8 千人を目標に掲げ復興を進めている。しかし町役場職員は 170 人しかおらず、ほぼ同じ 170 人規模で国や他の自治体、民間企業からの派遣による支援を受けている。説明者の [REDACTED] 氏はいわき市出身で、復興支援のため民間企業から浪江町役場に転職したとのこと。

FH2R の開所に先立ち浪江町は、国より早い 2035 年のゼロカーボンを目指して 2019 年に「ゼロカーボンシティ宣言」を行い、水素をはじめとする再生可能エネルギーの普及に取り組んでいる。

また「なみえ水素タウン構想」に基づき、浪江町役場本庁舎を ZEB 化するとともに、隣接する道の駅なみえとエネルギーを共用し平日と土日のエネルギー需要の平準化を図るなどスマート化を進めている。公用車に FCV を 15 台導入するほか民間事業者にも協力を呼びかけ約 60 台の FCV を有している。

このほか公共施設等への純水素燃料電池の設置、中学校を使った柱上パイプライン (電線みたい) の実証実験、一般家庭 (3 軒) での需給調整実証実験など、さまざまな分野での実証を進めている。米国カリフォルニア州ランカスター市と水素社会の実現を目指した連携協定も締結している。

この日は FH2R を視察したほか、[REDACTED] 氏のご厚意により道の駅なみえに設置してある純水素燃料電池と V2H 設備も説明していただいた。

⑤2/12(水)13:30-15:40 Zip Infrastructure 社・福島ロボットテストフィールド

・ 応対者 Zip Infrastructure 社 代表取締役 CEO 須知高匡氏、ほか 1 名
 福島ロボットテストフィールド事業部連携課副主任 ████████ 氏

・ 聴取内容

Zip 社は 2018 年、須知社長が大学在学中に立ち上げたハードウェアディープテックスタートアップ。1 人乗り試験機からスタートし、21 年には神奈川県秦野市で実証を開始し、昨年から広い実証フィールドを求めて福島ロボットテストフィールドに移転し、今後 12 人乗りの試験機による開発を進める計画。出資金 7 億円のほか国から 7 億円の補助金を受け進めている。

開発中の Zippar は 2 本のロープの上に EV をベースとした台車を走行させ、台車の下に 12 人乗りのキャビンを吊り下げる方式で運行する新たなモビリティ。公共交通モデルとしては路線バスと LRT の間に位置するとしている。

導入コストは 1 km あたり 15 億円ほどと宇都宮 LRT の約半分。最高時速 36 km/H で 12 人乗りのゴンドラを最短 12 秒間隔で運行することで 1 時間当たりの輸送力は宇都宮 LRT 並みの約 3600 人を確保できる。道路や土地に関わらずルート設計でき工期も短く済み、自動運転によりランニングコストも低いなどの特徴を持つ。現在のバッテリーは約 3-4 時間とのことで需要に応じ適切な台数での運行・充電を予定。国交省補助金を受ける前提で 1 日 1 km あたり 500 人程度の乗車人数が確保できれば採算は取れると試算。

既存交通システムが設置しにくいところや工業団地、大学、住宅地、ショッピングモールなどでの移動需要を想定しているほか、観光地などでも可能性を探っている。2025 年度当初予算では石狩市をはじめ約 10 の自治体で導入検討予算を計上している模様。静岡市も清水港周辺での導入を検討している。

あわせて今後実証実験線を設置するロボットテストフィールドの説明も受けた。ここではハード系スタートアップのさまざまな実証実験に対応しており、特にドローンなどエアモビリティについては南相馬市から浪江町の FH2R の隣にある滑走路まで海上飛行が可能とのこと。こうした実証エリアは南相馬市と五島市にしかないとのことニーズの拡大が期待される。

今年夏までにはロボットテストフィールドに Zippar 実験線が完成する。あらためて試乗してみたい。

⑥2/13(木)10:00-11:50 宮城県上工下水道コンセッションの取り組み

・ 応対者 宮城県企業局水道経営課総括課長補佐 ████████ 氏、ほか 2 名、
 (株)みずむすびマネジメントみやぎ代表取締役社長 門脇進氏、ほか 2 名

・ 聴取内容

宮城県は 2022 年 4 月から「宮城県上工下水一体官民連携運営事業 (みやぎ型管理運営方式)」を導入した。特徴は 2 点、①まず日本初の上水道事業コンセッションであること、②水道(2 事業)・工業用水道(3 事業)・下水道(4 事業)の 3 水道事業をバンドリングした事業であること。3 年目を迎え県や事業者の事業評価や県民の反応などを調査した。

(株)みずむすびマネジメントみやぎがマネジメントを担い、(株)みずむすびサービスみやぎが維持管理を担当している。この企業体はメタウォーター(株)、ヴェオリア・ジェネッツ(株)、オリックス(株)、日立製作所などが出資している。

コンセッション期間は2022年から2042年までの20年間で、運営権対価は10億円。主な業務は、事業計画策定など「経営に関する業務」、「維持管理業務」、「改築業務」、試験研究への協力など「関連業務」の4つ。このほか任意事業として小水力発電事業を行っている。

20年間の総事業費は約1,275億円で年間約60億円から70億円、エネルギーコスト増加などインフレスライド分は県で対応している。管理施設は9事業全体で約150カ所、管路は対象外となっている。20年を超える期間は時代の変化によるリスクが大きく難しいと考えている。

水道事業のコンセッションは浜松市でも検討したが、「民営化」という誤った認識が先行し導入には至らなかった。宮城県では導入時に県によるシンポジウムを開催したほか、県政だよりで説明するなど数年間にわたり県民への説明を実施した。

3年目になり議会や県民の理解は深まっている様子。事業のモニタリングはHPで公表されているほか、県が事業をやっていた時よりも情報公開が進んでいるとのことで評価は高まっている。第三者機関である「経営審査委員会」の求めに事業者として対応しているため、当初の要求水準を上回るものであるがアカウンタビリティは強化されている。

民間が事業を実施することで客観的チェックが厳しくなりディスクロージャーが進むほかに、スピード・技術の活用ほか、民間人材の自治体間異動による人材活用により他の自治体のノウハウを共有するなど民間活用のメリットは大きい。ポイントは「料金」「水質」「情報公開」でこれがクリアできれば民間活用に期待できる。

官民のリスク分担に関しては、リスクの発生確率や大きさと利益のバランスを考え検討しており、管路など施設管理が十分できないところや大規模災害リスクは公共が担うべき。

現在、県管理の2/3ほどの施設が対象とのことだが、県としては今以上の広域化については検討していない。また事業者側も規模としては最大2時間の範囲内であることから適正な広域事業との評価。一方、多くの自治体でウォーターPPPへの関心は高く、事業者として相談を受けることもあり、事業の共同化など実施可能な事業の提案を行っている。

将来の上下水道事業に対し、事業者の感覚として仙台くらいの規模になれば問題ないが、10万人規模の自治体は危機感に乏しく、1-2万人の自治体の方が危機感大きいいため県として相談を受けられる体制をとるべきとのこと。

3 県政への反映

品川区の取り組みはまだ具体化した事例は少ないが、前回SOCIAL Xで聞いた職員研修の効果が出ている。人口減少の時代、全ての行政サービスを自治体が税金でやるのはムリ。まずは職員の意識改革から進めたい。

原子力災害はリスク極小化が必要であり、浜岡においても中部電力による安全確保から住民の安心の拡大につなげることが重要と感じた。また南海トラフ地震の想定リスクをキチンと県民に伝えることの重要性を再認識した。

水素エネルギー導入について本県は遅れている。R7当初予算で山梨県との連携による導入促進予算が組まれているので、この内容をまずはチェックし、今後の活用につなげていきたい。

ハードウェアディープテックスタートアップは産業として本来静岡県にこそ親和性が高く、本県においても実証フィールドの設置を進めるべきと考える。特に今後

	<p>に期待できる次世代エアモビリティの実証フィールドの設置を進めたい。</p> <p>水素研究施設やロボットテストフィールドなど一連の福島の復興事業については、現在の「福島イノベーション・コースト構想」に基づいているが、今後「F・REI（福島国際研究教育機構）」も加わり「ロボット」「農林水産」「エネルギー」「放射線科学」「原子力災害」の分野で研究開発、人材育成などを進める計画もあるとのこと。いまだ復興途上の地域、ゼロからの立ち上げだからこそその取り組みとも言えるが、こうした取り組みは本県としても効果があると考えられることから連携が重要と感じた。</p> <p>水道事業のコンセッションについては、将来の人口減少や官から民への流れを考えれば、本県としても今後真剣に考えざるを得ない。一方、10万人規模の自治体の危機感の無さは私も感じており、今後の広域化や民間活用の促進をあらためて提案していきたい。</p>
--	--

*本概要書は、県外における調査研究活動のために政務活動費を支出した場合に提出する。

支出証拠書

(会派名・議員氏名 ふじのくに県民クラブ・ 田口 章)

経費項目	調査研究費・研修費・広聴広報費・要請情報活動費・会議費・資料作成費・資料購入費・事務費・事務所費・人件費		
内容	県庁にて調査		
年月日	令和7年2月17日～令和	年 月 日	金額 4,680円

目的 (該当項目に丸印)	部局事業ヒアリング・地元要望活動調査・会派内調整打合せ・政務活動資料の整理・その他調査 ()
用途 (該当項目に丸印)	交通費・宿泊費・駐車料・その他
政務活動・ 県政との 関連性 (該当項目に丸印)	<ul style="list-style-type: none"> 議会・委員会等質問のため、関係部局の事業・主要施策等を確認する。 地元要望に関連する部局の事業内容や取組方針・進捗状況などを確認する。 確認した事業の課題内容や進捗状況を元に、議会・委員会等の質問に反映する。 議案の審議に必要な情報として、県施策の状況を確認する。 会派内で県施策等に関する検討を行い、意見の調整・集約を行う。

《領収書貼付枠》

JR回数券 浜松-静岡 3.4/6
 領収書 田口章 様
 Receipt
 領収年月日 2024.12.19 登録番号: T3180001031569
 金額 ¥12,540 (消費税等込み) 税10%
 (クレジット扱い)
 購入商品 JR乗車券類
 (20107.7枚)
 東海旅客鉄道株式会社
 浜松駅MV8発行 30108-02
 印紙税申告納
 付につき名古屋中村
 税務署承認済

かじプラ第2パーキング

登録番号:T1080401000202

領収証

精算機 #01	A 精算No.000263
発券機 #01	発券No.012818
入庫時刻	2025年 2月17日(月) 10:33
出庫時刻	2025年 2月17日(月) 15:58
駐車時間	5:25
駐車料金	A料金 500円
=====	
合計	500円
現金領収額	500円
お預り	500円
お釣り	0円
上記合計金額は消費税10%対象です。 またのご利用をお待ちしております。	

原本は 7 年 / 月 整理番号 / - 7 添付

案分の理由	領収書金額(a)	案分率(b)	政務活動費支出額(a×b)
全て政務活動にかかるものである。	4,680円	/	
		100 %	4,680円

支出証拠書

(会派名・議員氏名 ふじのくに県民クラブ - 田口章)

経費項目	調査研究費・研修費・ <u>広聴広報費</u> ・要請情報活動費・会議費・資料作成費・資料購入費・事務費・事務所費・人件費		
内容	FM 県政報告 (広報費)		
年月日	令和7年2月24日	金額	600円

目的	県政の方針や県議会の状況を県民に広報するため
用途	駐車場料金
政務活動・ 県政との 関連性	2月定例会の話題と教育行政について報告した。FMHaroの契約駐車場に置くことができずコインパーキングを使用したため駐車料金が発生した。

《領収書貼付枠》

名鉄協商P 浜松鍛冶町第4
 名鉄協商株式会社
 0120-722-247

登録番号:
 T3180001033061
 適用税率10%

《領収書(利用明細書)》
 車室No.0002 No.1-014924
 入庫25/02/24 19:01
 精算25/02/24 20:03

駐車料金 600円
 お支払い明細 処理番号 IKZ1E
 クレジットカード 600円
 投入現金 0円
 お釣り 0円
 外クレジット
 No. *****

取扱日 25年02月24日20:04
 取引額 600円
 応答通番 IKZ1E IC
 認証番号 0658301
 端末識別番号 87654321
 伝票番号 0000000000000014924
 AID_ A000000031010
 ATC_0046 VISACREDIT

案分の理由	領収書金額(a)	按分率(b)	政務活動費支出額(a×b)
全て政務活動にかかる ものである	600円	100%	600円